

ここまでの交渉経過を振り返りましょう！

【第2回交渉 要求の根拠 を簡単にまとめると…】

組合：「上半期対計画 93.8%となっているが、対前年では 101.0%となっている。

計画未達を理由に手当抑制は断じて認めない！

人事制度や要員不足など、全国の職場で不満が爆発している。

列車を止めないために安全・安定輸送に尽力し会社に貢献してきた！

会社：「計画が高いことは、企業としては当たり前のことである。

列車を止めない職場での努力は上層部に届いていないので伝えていく。」

【第3回交渉 会社の考え を簡単にまとめると…】

会社：「生活給について否定はしないが、上半期の業績であると考える。

営業収入は対計画の 98.8%であるが経済回復の兆しが見えてきている。

組合の主張を受け止め、去年の年末手当を上回れるよう検討したい。

組合：「燃料価格や物価が上昇している。生活に安心が持てる納得の回答を！

経済回復の兆しが見えているのならば満額出しても良いのではないか！

現場は言葉などより数字で見ている。感謝の意をしっかりと数字で表せ！」

私たちの労苦に報いようとしなない姿勢は許さない！

なんとしても満額回答を勝ち取ろう！！